

講義コード	1167	科目区分	教職に関する科目(中・高一種免許)
(フリガナ)	タイイクカキョウイクホウ I	(フリガナ)	クニキ タカハル
授業科目名	体育科教育法 I	担当教員名	國木 孝治
英文授業科目名	teaching methods in physical education I		
基準年次(開講期)	2年生(前期)	履修形態	必修
曜日/時限/講義室	水曜日/4時限/321		
授業の方法	講義・演習	授業の方法 (詳細情報)	講義中心、演習中心、学生の発表
単位	2	週時間	1
授業のキーワード	体育科教育学、学習指導要領、学習指導案、模擬授業		
授業概要・目的	本授業では、将来において中学校・高等学校保健体育の教員を目指す受講生が、体育科教育の学習目標、学習内容・教材、指導法、評価法、場の設定等について理解を深め、学習指導要領にもとづいた指導計画の立案ができるようになることを目的としている。 「体育科教育法」は通年で実施し、本授業はその前半にあたる。		
到達度評価の 評価項目	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会が求める体育教師像について考察を深めることができる。 ・体育科教育の成立過程について理解できる。 ・体育科教育の学習の特性について理解できる。 ・学習指導要領と保健体育科教育について理解できる。 ・教科の評価法について理解できる。 ・授業の目的・方法・内容について理解できる。 		
授業計画			
第1回	授業ガイダンス 授業計画、評価、テキスト・参考書についての説明		
第2回	体育科教育の変遷史 戦後の教育改革と体育科の成立過程		
第3回	体育科教育の目標と内容 学習指導要領における体育科教育の目標と内容		
第4回	各運動領域の特性と学習指導の要点① 「体づくり運動」領域		
第5回	各運動領域の特性と学習指導の要点② 「体育理論」領域		
第6回	各運動領域の特性と学習指導の要点③ 「陸上競技」「水泳」領域		
第7回	各運動領域の特性と学習指導の要点④ 「球技」領域		
第8回	各運動領域の特性と学習指導の要点⑤ 「武道」「ダンス」領域		
第9回	体育科教育の学習指導の計画① 年間計画、単元計画、指導案		
第10回	体育科教育の学習指導の計画② 学習指導案の書き方		
第11回	体育科教育の学習指導の計画③ 教材論、場作り		
第12回	体育科教育の学習指導の方法 主に学習形態について		
第13回	体育科教育の学習指導の実際 よい授業の原則・条件、事故防止、賞罰のあり方		
第14回	体育科教育の評価 学習評価の目的と内容、評価の実際		
第15回	まとめ 授業総括、課題レポートの提出		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省編(2008)中学校学習指導要領解説(保健体育編)。 ・文部科学省編(2009)高等学校学習指導要領解説(保健体育編/体育編)。 ・久保健(2014)体育科教育法(講義・資料集)。 ・高橋健夫ほか(2010)新版・体育科教育学入門。 		
授業で使用する 機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習への アドバイス	授業各回の終わりに次回使用する資料・指導案等を提示するので予習すること。		
履修上の注意・ 受講条件等	学科・専攻で定める中・高教職免許取得に係る諸条件を満たし、当該年度(または前年度)に教育実習に行くことが許可されている者。教職課程履修に強い意欲と責任感を示す者。		
成績評価の基準等	以下の3つの観点から評価する。 1) 授業到達目標に対する到達度評価(60/100) 2) 学習指導案作成等のレポート提出(20/100) 3) 出席、参加態度に基づく評価(20/100)		
メッセージ	真剣に教員を目指すものとして、教師を志す強い意志を持続させることが必要である。 なお、以下の資料を初回授業時までには揃え、毎授業時に持参すること。 ・文部科学省編(2008)中学校学習指導要領解説(保健体育編)。 ・文部科学省編(2009)高等学校学習指導要領解説(保健体育編/体育編)。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他	遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上に置かずにはしまっておくこと(各種障がいのために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。		